

# 健康運動指導研究助成

## 募集内容

運動指導における実践研究や、地域・職域における健康・体力づくりのための調査研究に対して助成を行います。

指定研究区分は、健康運動指導士又は健康運動実践指導者以外に、大学等の研究機関に所属する方も応募いただけます。

※前年度（令和6年度）に本研究助成金の交付を受けた方は応募できません。

## 1 実践研究

ア. 運動指導活動における検証、課題解決、人材育成、新たな指導法等のための研究

イ. 運動指導活動における事例をもとに得た経験や知識の具体的な成果報告、自らが考案・工夫した運動プログラム・指導方法等に係る効果検証等の具体的な成果報告

ウ. 多くの健康運動指導士・健康運動実践指導者が活用できる運動プログラム教材や運動器具などを作成するための研究

助成金額…1研究につき 上限 **50万円** 15件以内

**【応募資格】 健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者**

※この区分は、大学・研究機関において研究活動を主な業務とされている方より、指導活動を主な業務とされている方を優先します。

## 2 調査研究

我が国の健康・体力づくりに貢献できる、地域・職域における健康・体力づくり推進、新たな指導のあり方等のための研究

助成金額…1研究につき 上限 **100万円** 5件以内

**【応募資格】 健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者**

## 3 指定研究

当財団が指定するテーマに関する研究

令和7年度研究課題

- 健康運動指導士・健康運動実践指導者の活躍と新しい働き方に関する研究

キーワード 多(他)職種連携、行動変容、資格活用、地域連携、キャリア形成等

助成金額…1研究につき 上限 **250万円** 3件以内

**【応募資格】 以下に所属する研究者**

「学校教育法に基づく大学及び同附属試験研究機関」「国の施設等機関」「地方公共団体の附属試験研究機関」「研究を主な事業目的としている公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人及び一般社団法人」「研究を主な事業目的とする独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第2条の規定に基づき設立された独立行政法人」「その他これらに準ずる適当と認める機関」

研究期間

令和7年 5月～  
令和8年 3月31日

受付期間

令和6年

令和7年

12月2日月～1月7日火

選考結果 令和7年4月に郵送にて通知します。

募集要項及び応募方法は当財団ホームページよりご確認ください。

<https://www.health-net.or.jp/tyousa/josei/index.html>



問合せ先



公益財団法人  
**健康・体力づくり事業財団**  
JAPAN HEALTH PROMOTION & FITNESS FOUNDATION

〒105-0021 東京都港区東新橋 2-6-10 大東京ビル7階  
公益財団法人健康・体力づくり事業財団 指導者支援部 研究助成担当  
TEL : 03-6430-9115 FAX : 03-6430-9215 Mail : josei@health-net.or.jp

# 令和6年度健康運動指導研究助成 研究課題一覧

## 実践研究

- 高齢者の運動実践を促す動機づけパンフレットの開発および評価
- 子どものケガ予防・運動能力向上に対する足指運動の有効性
- うつ病など精神疾患が原因の休職者へ復職時に必要な1日の活動量の検証～歩数と朝のオンラインレッスン参加状況に着目して～
- フレイル予防体操（シニア・ライフ・フィーバー）の有効性～自宅で行う運動習慣に着目して～
- 大学と市の連携による地域健康づくりのための住民向け健康支援プログラム  
～健康運動指導士・管理栄養士・学生ボランティアの連携～
- 若年者の排泄機能と運動機能・生活習慣との関連
- 通所リハビリテーションに通う高齢要支援・要介護者に対するモルックを利用した認知運動プログラムの有効性
- シニアがシニアを支える社会を目指したフレイル予防運動の実践とプログラム作り
- ネコと遊んでフレイル予防 ー靴下一体型猫じゃらしエクササイズの効果検証ー
- 障がい者就労継続支援B型事業所での健康づくり活動の提案と実践
- 健康運動指導士によるオンライン筋トレー対面指導支援で運動の場を家庭に
- 高齢者に対する脳・神経系運動指導プログラムの有効性の検証
- 体操競技特有のトレーニングを利用した身体理解向上のための運動プログラムの構築
- 労働者におけるロコモ度テストを利用した転倒リスク評価方法の検討
- 健やかな子どもを育むための運動指導～健康運動指導士と理学療法士が連携する運動器検診後の子どもロコモへの取り組み～

## 調査研究

- リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッド型健康増進プログラムによる高齢者のデジタルデバイド解消と主観的幸福度向上に対する効果検証
- 都会と故郷をつなぐ官学連携によるヘルスプロモーションー地域在住高齢者を対象とした新たな運動介入モデルの構築ー
- 多世代の「座りすぎ」を予防するための健康教育教材の開発・評価
- 運動と栄養摂取が身体組成やパフォーマンスに及ぼす要因の検証

## 指定研究

- 多職種連携による地域全体での運動普及と健康運動指導士の役割に関する研究

■令和5年度研究成果報告書  
[https://www.health-net.or.jp/tyousa/josei/houkoku/josei\\_seikaR5.html](https://www.health-net.or.jp/tyousa/josei/houkoku/josei_seikaR5.html)



■令和6年度採択研究課題の「研究計画書例」  
[https://www.health-net.or.jp/tyousa/josei/documents/r7\\_1-4\\_jirei.pdf](https://www.health-net.or.jp/tyousa/josei/documents/r7_1-4_jirei.pdf)

